

新座マンドリンクラブの巻

訪問者：齊藤 総子、富田 宏

<前口上>

去る7月の晴れた日の午後、埼玉県でありながら東京都と接する志木市の東北コミュニティセンター3階の練習ホールに、11月の定演を控えて練習中の新座マンドリンクラブにお邪魔いたしました。練習場はすばらしく広々としていて、メンバーの皆さんはのびのびと練習に励んでいらっしゃいました。取材には、部長の谷口勉さん、指揮者の荒木勇次郎さんと古川治さん、それにコンマスの高橋喜広さんがお相手してくださいました。

<クラブの結成は>

Q：— こちらのクラブ結成のきっかけは。

A：— それは、1977年(昭和52)、当時の部長がここ新座で有志を募って始めたというんですが、当時の人達はもうだれもいないんですよ。なにせ始めは2～3人しかいなかったそうなので(笑)。それで今年で29年、来年は創部30周年を迎えます。

Q：— で、現在は何人くらいで。

A：— 今では部員45名で、うち男性19名、女性26名です。

Q：— 来年の30周年には、なにか記念的な行事の企画はおありですか。

A：— そうですね。何かやろうとは思っていますが、まだ今年の前演が終わらないので、まずはそちら優先というところです。

<クラブの特色は>

Q：— こちらのメンバーには、学生さんもいらっしゃる…。

A：— 学生も数名はいますが、やはり社会人サークルですので、殆どは社会人です。特色としては、他団体と比べ、年齢層が幅広いといえるのではないのでしょうか。部員の職種もさまざま、主婦を始め、営業、経理、研究者、システムエンジニア、自営業、定年退職者などがストレス解消に集まっています。そういうことで、若い人も、年配の方もいろいろですから、練習以外でも相談に乗ったり乗られたりして和気あいあいです。それにいろいろな学校のサークルの集まりですので、一部の学校派閥に偏ったりカラーに染まっていないのも特色の一つですかね。

<練習日について>

Q：— こちらの練習日についてお聞かせ下さい。

A：— そうですね、練習は月に2回、日曜日というのが固定的に決まっています。土曜日は、仕事や家を空けられない人も多く、そうなっております。しかし本番前数か月くらいになりますと、毎週ということになります。

<選曲の方法は>

Q：— 選曲は、どのようになさっていますか。

A：— 選曲はですね、1回では無理なので、2回くらいに分けて。最初に候補曲を上げて、それを絞っていきます。1～3月に選曲会議を開くわけですが、誰でも参加は可能にしています。但し部長、指揮者、コンマス、各パートトップは必ず出席するようにしています。

Q：— 特集というようなことは。

A：— 最近では2部制にして、第1部はポピュラーを含めた、なじみのある曲を、いわば企画ものといった形で、第2部はオリジナル曲のステージということで選曲しています。

Q：— 最近おやりになった企画ものといえば…。

A：— 去年は、ミュージカル特集を、一昨年は日本の歴史特集を集めました。ポピュラーステー